

四月よみとりおけいこ⑤（低）

名まえ（

）

まえにさえずりのことをおはなししましたね。きょう
はききなしのおはなしをしてみましょう。ききなし、と
いうのは、とりのさえずりを人のことばにあてはめること
をいいます。

一ばんゆうめいなのは、ウグイスです。「ホー、ホケキ
ヨ」とはみなさんもしっていますね。あれにはかんじが
あります。「法、法華經」とかきます。おしゃかさまのお
しえを法といいます。法華經というのはお經の一つで
す。ですから、むかし日本人のほとんどがそれをしんじ
ていたころは、ウグイスはありがたいとりでした。

コノハズクのさえずり「仏法僧」(ブッポウソウ)も有名
です。仏はおしゃかさま、法はおしえ、僧はおぼうさん
のことです。

メジロのさえずりは「長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛」
と、えびじだいにおおかつた名まえにあてはめられまし
た。

「特許許可局」というのは早口ことばのようですが、
ホトトギスのさえずりをあらわしたききなしです。もつ
とも、ホトトギスはほかにもたくさんききなしがあつて、
よくしられてているのは「てっぺんかけたか」(山のてっぺ
んをはしつたか?)ですが、おさけの大すきな人には「一
ぱいつけたか」(おさけのおかんができたか?)ときこえ
るそうです。また、おてらの小ぞうさんには「ぞうきん
かけたか」ときこえたのだそうです。

こうしてみると、ききなしには、さえずりをきく人が
なにをかんがえているのか、ということがかんけいして
いることがわかりますね。おんどくサイン→

①なんのはなしですか？

()

②ききなしとはとりのさえずりをなににあてはめることですか？

()

③上の文にはなんしゅるいのとりがでてきますか？

()

④ウグイスのさえずりをカタカナでかきましょう。

()

⑤コノハズクのさえずりをカタカナでかきましょう。

()

⑥メジロのさえずりをカタカナでかきましょう。

()

⑦なぜ小ぞうさんはぞうきんかけたかときこえる
のでしょう。

()

⑧ききなしにはなにがかんけいしているのでしょうか
う？ぬきだしましよう。

()

⑨あつてている文に○をつけましょう。
() メジロのききなしはさいきんおこなわれた。
() つめたいさけをのむことをおかん、という。

() ききなしにはさえずる人がかんがえている
ことがかんけいしている。

⑩おもつたことを四行にまとめましょう。

できばえは？

